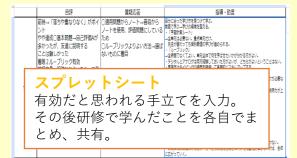
【取組内容】 教職員用ポータルサイトによる情報の一元化(研究授業協議会での活用)

④ 校務DX 教職員が活用するポータルサイトを作成し、毎日の欠席連絡、行事予定の確認、毎週行う「気になる子のチェック」、毎月行う「いじめアンケート」や安全点検など、あらゆる情報をポータルサイトから閲覧・活用できるようにした。その際、スプレットシートやGoogle フォームを活用することにより、入力や集計が短時間ででき、校務の効率化へと繋がった。例えば、研究授業の際には、指導案を職員用クラスルームから閲覧できるようにし、ペーパーレス化を図った。また、授業後の協議会では、スプレットシートやGoogleフォーム、chatGPT、オンラインホワイトボードソフトを活用、その場でより多くの意見を収集、整理、共有することができた。

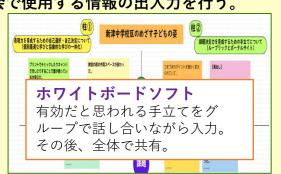


※例えば・・・ポータルサイトの「職員室クラスルーム」から研究授業の協議会で使用する情報の出入力を行う。

令和6年度 第2回与原小学校公開授業 協議会



アンケート B I U ® X Google フォーム 有効だと思われる手立てをフォーム に入力。その後、chatGPTで分類整 理し、全体で共有。



教職員用ポータルサイトを作成したことにより、教職員の作業時間が短縮され、業務の効率化を図ることができた。また、校内研修でスプレットシート、 Googleフォーム、ChatGPTを活用したことにより、職員がよさを実感し授業実践での活用への意欲が高まった。事後の教職員ICTアンケートにおいても、 「情報活用能力が向上した」と実感している教職員の割合が増加した。今後もICT支援員と連携して、校務の効率化を目指す必要がある。